

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40		-			3.0
1 音環境		3.3	0.15	3.2	1.00			3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.8	0.40	3.6	0.40			
1 開口部遮音性能	遮音性能等級T-2を採用	5.0	0.41	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.59	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.6	0.25	3.3	1.00			3.0
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	昼光率 共用部:0.63 住戸:5.80	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.5	0.25	3.3	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		3.1	0.40	4.2	1.00			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室、多床室ともに10㎡以上	-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	3.0	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	住戸内及び共用部内壁面は、防汚性の高いビニルクロスとした。風除室の1次扉と2次扉が同時に開かない様に3.5mの距離を確保した。	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	住戸 床ビニルシート4.5、壁ビニルクロス(PBt12.5)、天井ビニルクロス(PBt9.5)	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房ダクト(外部)はSUS仕様	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS(C)、排水:VP(B)、通気:VP(A)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	2.8	0.20	[格子]	-	2.7
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
	3	電気設備	3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	2.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.1		0.30	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	3.0	0.30	1.8	0.50	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.60	1.0	0.60	
		壁長さ比率 共用部:0.33 住戸:0.41	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	3.4	0.40	[格子]	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.20		-	
	4	通信配線の更新性	5.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性	5.0	0.10		-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	[格子]	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	[格子]	-	4.0
白を基調とした外観とし、低層部は館銘板等デザイン的なポイントを持たせつつ、ヒューマンスケールを意識した構成とした。地被類、サルスベリを植樹することで、緑ある優しい景観を演出する。							
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	[格子]	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	[格子]	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	[格子]	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.820	4.0	0.19	[格子]	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	[格子]	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.77 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	[格子]	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI _m =0.770、LED照明器具を採用	4.0	1.00	[格子]	
集合住宅の評価(3c)				[格子]	-	[格子]	
4 効率的運用				3.0	0.20	[格子]	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	[格子]	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	[格子]	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	[格子]	
集合住宅の評価				[格子]	-	[格子]	
4.1	モニタリング			[格子]	-	[格子]	
4.2	運用管理体制			[格子]	-	[格子]	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20	[格子]	-	3.4
1.1	節水		自動水栓などに加えて節水型便器を使用	4.0	0.40	[格子]	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	[格子]	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	[格子]	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	[格子]	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	[格子]	-	2.6
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.11	[格子]	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	[格子]	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	[格子]	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	[格子]	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-	[格子]	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用	4.0	0.22	[格子]	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	[格子]	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	[格子]	
3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	[格子]	
1	消火剤			-	-	[格子]	
2	発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いたノンフロン断熱材を採用	5.0	0.50	[格子]	
3	冷媒			3.0	0.50	[格子]	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=81%	3.7	0.33	[格子]	3.7
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	[格子]	3.0
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	[格子]	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	[格子]	
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	[格子]	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	[格子]	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	[格子]	
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	[格子]	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	[格子]	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	[格子]	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1	騒音	3.0	0.40	[格子]	-	
	2	振動	3.0	1.00	[格子]	-	
	3	悪臭	-	-	[格子]	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	1	風害の抑制	3.0	0.40	[格子]	-	
	2	砂塵の抑制	3.0	0.70	[格子]	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	[格子]	-	
3.3 光害の抑制	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.20	[格子]	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.70	[格子]	-	
			3.0	0.30	[格子]	-	